

## 令和7年度 第1回地域連携推進会議 議事録

1. 開催日時 令和8年1月22日(木) 13時00分～14時00分
2. 開催場所 ブラームス食堂
3. 出席者 群馬県立前橋高等特別支援学校校長 生方典代様  
前原地区民生委員 須藤五月様  
青梨子町自治会長 関根文雄様  
ブラームス利用者 T様  
ブラームス利用者ご家族 S様  
ショパン利用者 K様  
ショパン利用者ご家族 W様  
ゆずりは会理事長 関根安子  
フォルテ管理者 小淵久徳  
フォルテサービス管理責任者 工藤あゆ美

### 4. 会議

(1) 管理者より開会のあいさつ

(2) 理事長よりあいさつ

(3) 出席者紹介

順番に自己紹介を行った。

(4) 地域連携推進会議・秘密保持について

①年1回以上の開催が義務付けられていることと会議の目的について説明した。

- ・利用者と地域とのつながりを深めること
- ・地域の皆様にグループホームや利用者について理解を深めていただくこと
- ・グループホームの運営の透明性を確保し、サービスの質を高めること
- ・利用者の権利を守り、適切な支援につなげていくこと

②秘密保持について、事前に承諾書を記入いただいているが、再度会議で知り得た情報を会議外で口外しないようお願いした。

(5) 法人の沿革

理事長よりゆずりは会の設立から現在までの説明を行った。

(6) 事業所紹介

①事業所の概要

管理者よりパンフレットをもとに

- ・フォルテが目指しているもの
- ・支援内容
- ・名称の由来
- ・開所の年月

- ・ショパンの特徴や入居の目安

- ・利用料

- ・利用者の行事、自治会

の説明を行った。

#### ②利用者の状況・日常生活の様子

- ・現在の利用者の男女構成、年代別、障害支援区分の状況等について

- ・食事について外部の宅配の利用頻度や特別メニュー等について

- ・利用者の自治会の発足、今年度の行事内容、来年度の行事計画について

の説明を行った。

#### ③経営状況

- ・令和6年度の会計報告

- ・給食費の残金の返金について の説明を行った。

#### (7) BCP について

- ・業務継続計画の作成目的や内容について説明を行った。

#### (8) 虐待・事故・ヒヤリハットの報告

- ・今年度の苦情、ヒヤリハットについて説明を行った。

#### (9) 情報提供

・前原集落センターにて2月22日に文化祭が行われるので、参加可能。展示スペースもあり、申し出があれば利用者の作品も展示可能。

#### (10) 意見交換

Q：入居者はどのように決めたのか。

A：まず法人内でグループホームについてアンケートを行った。すぐに利用したい人や興味がある人を対象に説明会を開催した。すぐにでも利用したい人を優先的に入居を決定した。

Q：年を重ねていってグループホームでの生活が難しくなった時はどうするのか。

A：まずは本人や家族に意思の確認を行う。介護度が高くなれば、介護施設などで受け入れていただく選択肢も出てくるのではないかと考えている。またその時の社会資源でもまた新しいものが出てくる可能性もあるので、その時にご本人がどのように暮らしたいかが重要になる。ご家族を含めた面談も年に2回あるので、ご家族の意思やご本人の状況なども共有させていただいているので、今後のことも一緒に考えていけるのかなと思っている。

Q：グループホームから日中活動まではどのように通っているのか。

A：徒歩や自転車、バスで通所している。バスは何度も何度も練習をして、途中トラブルがあった時はその都度対応している。

Q：グループホームを退所された方はいるのか。

A：1名はご家族が県外に引っ越してしまうということで同じ県のご家族に近い場所のグループホームに移った方がいる。もう1名はご本人の希望で別のグループホームに移った方がいる。

・(ご家族より) 精神の方対象のグループホームでは、病院から直接グループホームに来る方がいる。グループホームで過ごして開放感からか好き放題してしまう人もいて退所となるケースもある。問題行動が多い方は行き先がなかなか決まらないケースが多い。また両親と折り合いが悪く、兄弟が間に入るケースや相談員・グループホームに丸投げするケースもある。児童養護施設にいた方で特別支援学校卒業後に自宅に帰れず、グループホームに入居する人も多い。

・(理事長より) 相談員とどのくらい繋がっているかも重要。

## 5. 閉会



## ○見学時の様子

